

SPA8000電話アダプタのNAT設定

目的

このドキュメントでは、SPA8000デバイスのさまざまなNAT設定を変更する手順について説明します。

該当するデバイス

- SPA8000電話アダプタ

手順

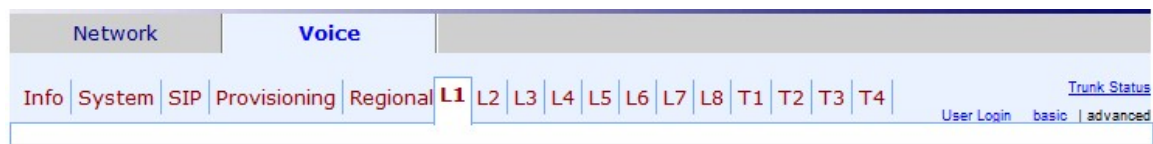
SPA8000のNAT設定



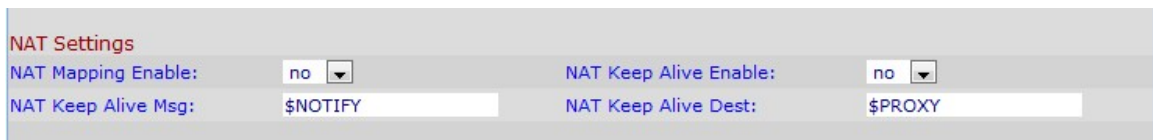
ステップ1：電話設定ユーティリティで[Admin Login]をクリックして、変更可能なページ数と設定を増やします。



ステップ2：ページの右上隅にある[Advanced]をクリックします。



ステップ3:[Voice] > [L1]の順に選択します。これにより、[L1 Settings]ページに移動します。



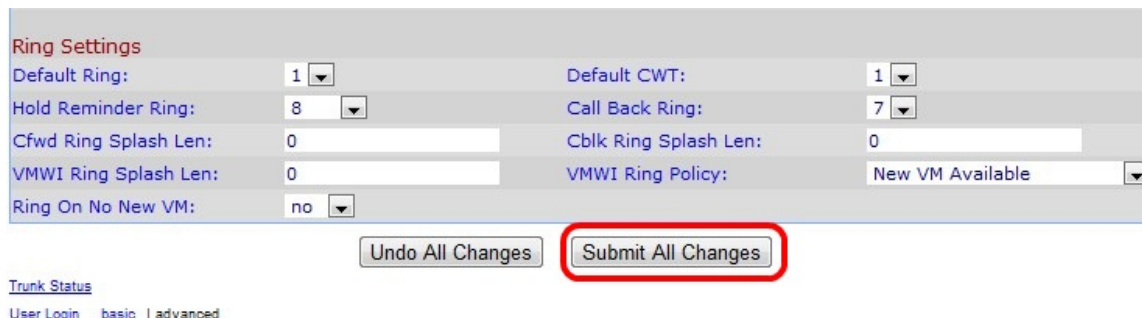
ステップ4:[L1]ページで、[NAT Settings]パラメータまでスクロールダウンします。

ステップ5:[NAT Mapping Enable]：このオプションは、SIPメッセージで外部にマッピングされたIPアドレスとSIP/RTPポートを使用するために有効にします。パラメータを有効にするには[はい]を選択し、無効にするには[いいえ]を選択します。デフォルトでは[いいえ]が選択されています。

ステップ6:NAT Keep Alive Enable：このオプションは、設定されたNATキープアライブメッセージを定期的送信するために有効です。パラメータを有効にするには[はい]を選択し、無効にするには[いいえ]を選択します。デフォルトでは[いいえ]が選択されています。

ステップ7. NAT Keep Alive Msg : このパラメータには、現在のNATマッピングを維持するために定期的に送信するキープアライブメッセージを入力します。デフォルトでは\$NOTIFYに設定され、NOTIFYメッセージを送信します。

ステップ8:NAT Keep Alive Dest : このパラメータは、NATキープアライブメッセージを受信する宛先を割り当てます。デフォルトでは\$PROXYに設定されており、現在のプロキシまたは発信プロキシにメッセージを送信します。



The screenshot shows a configuration page titled "Ring Settings". It contains several parameters with dropdown menus and text input fields:

Default Ring:	1	Default CWT:	1
Hold Reminder Ring:	8	Call Back Ring:	7
Cfwd Ring Splash Len:	0	Cblk Ring Splash Len:	0
VMWI Ring Splash Len:	0	VMWI Ring Policy:	New VM Available
Ring On No New VM:	no		

Below the settings are two buttons: "Undo All Changes" and "Submit All Changes". The "Submit All Changes" button is circled in red.

At the bottom left, there are links for "Trunk Status", "User Login", and "basic | advanced".

ステップ9:[Submit All Changes]をクリックします。